

北ア、燕岳登山

2014.6.26 Fさんと

トレーニングを兼ねて登ってきました。燕岳（2763M）は燕山荘グループの赤沼健至氏（私と同姓同名）がマスコミを通じて宣伝する知名度と泊まってみたい山小屋のトップ（だと思えます）の人気の山です。百名山に入っていない山では異常な人気の山です。我が家から登山口の中房温泉までは車で40分ほどと近い山で、自宅からチョット歩いた地点からは夜間燕山荘の明かりが見えます。安曇野から眺めた時は目立たない山容の山です。昔は夏山登山シーズン前のトレーニングに何回か登った山ですが、ここ10年位登っていません。

「北アルプス三大急坂」の一つになっている合戦尾根は急な坂が登山口からすぐ始まります。時期柄梅雨空で燕山荘前の広場からの裏銀座～槍ヶ岳の大展望には恵まれませんでした。雷鳥の砂浴びをジックリ拝見できたりで満足な山行でした。

6:45 中房線の宮城橋先でFさんと合流～7:15 中房温泉登山口P 7:35
～10:50 合戦小屋 11:10～12:25 燕山荘前広場（昼）13:20～14:00
燕岳 14:10～15:25 合戦小屋 15:35～18:05 登山口P 18:15～
18:50 帰宅

日帰り登山としては遅い出発。雨が降らない事を願って出発。トレーニングには願っても無い急坂を登る。第一・第二・第三とベンチの休憩箇所がある。

登山口



最初から急坂です



最後は標高 2200Mの富士見ベンチ。最盛期は登山者でごった返すのでベンチの数も多い。各箇所5分位ずつ休んで合戦小屋に向かう。

コイワカガミ



合戦小屋



半分ほど歩いた所に何と蛇がいた！。標高 2300Mもある所に。私は蛇が嫌いで蛇について調べた事がある。ある本では棲息する限度は 1500M位までと書かれていたが、梅池高原の 1800M付近で見た事がある。標高 2280Mほどの

高天原は温泉があり、地熱が高いので蛇が棲息しているとの記載もあった。

しかしここには温泉は無い。ギネス物だ。合戦小屋に到着する。名物「スイカ」で有名な休憩だけの小屋で宿泊はできない。又中房温泉から此处までケーブルリフトが架かっていて食糧などの物資などが運搬できるようになっている。

ケーブルリフト



燕山荘前



合戦小屋から上にはまだ登山道にも何か所か残雪があったが、軽アイゼンも必要は無く歩ける。燕山荘前で昼食休憩後山頂に向かう。コマクサの群生地があるがまだ開花前。ハクサンイチゲなどが咲いている。



←雷鳥の砂浴び

何と登山道に一羽の雷鳥がいる。我々が近づいても逃げる事無く砂浴びを楽しんでいる。その様子をジックリ拝見させてもらった。

ハクサンイチゲ



ミヤマキンバイ



イワウメ



コマクサも咲き初めました



イルカ岩



燕岳山頂



名物のイルカ岩を過ぎて、メガネ岩から山頂までの区間はこの時期登山道が不明確で沢山の足跡がアチコチにつけられている。コマクサの群生地も悪意がないが歩かれている。登山道の案内板（又はロープ）を設置すべきだと感じた。降雨の心配もあるので下山を急ぐ。残雪がある箇所では小屋番達が歩き易いようにステップを切ったりしていた。有難い。

登山道にも残雪あり



登山口が近ずいたら雷が鳴り雨が降り出した。急いで下山する。雨具を着る事無く駐車場に戻った。帰宅したら自宅付近はものすごい土砂降りだったとの事ラッキーだった。今日は腰痛と膝痛だ、急坂がこたえたようだ。